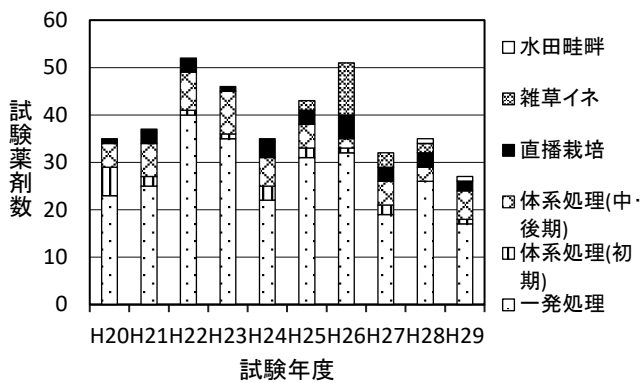


水稲関係除草剤技術確認圃における供試薬剤の推移(関東)

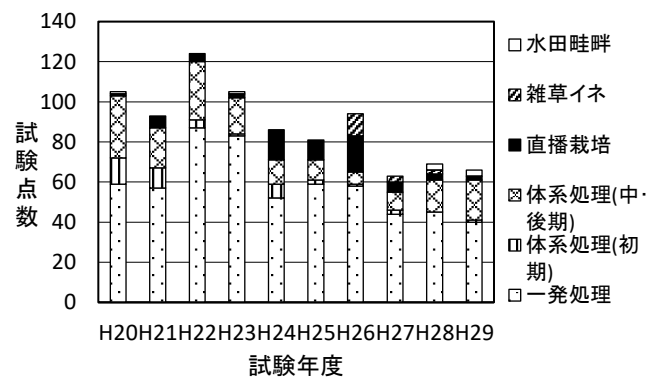
植調協会関東支部

関東地域における水稲関係除草剤技術確認圃の供試薬剤の推移（平成20年～29年）は次の通り。

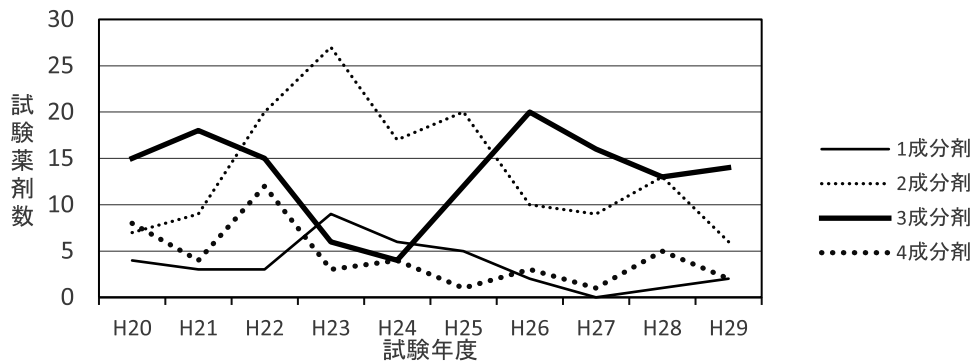
- (1) 技術確認圃の供試薬剤数は27剤～52剤であり、近年は減少傾向にある（図－1）。一方、実証点数は63箇所～124箇所で開催しており、最近3年間はほとんど変わらない（図－2）。
- (2) 内訳としては移植栽培の一発処理剤が6～7割と多く、次いで体系処理剤の実証が行われている。直播栽培はH24～26に多かったが、近年は体系処理（中・後期）の多い傾向が見られる（図－1、2）。
- (3) 供試薬剤の有効成分数をみると、H22～25は2成分剤の実証が多かったが、H26からは3成分剤が多く、本年は2成分剤が少なかった（図－3）。
- (4) 評価はほとんどがA評価である。最近3年間はB評価が少ない（図－4）。



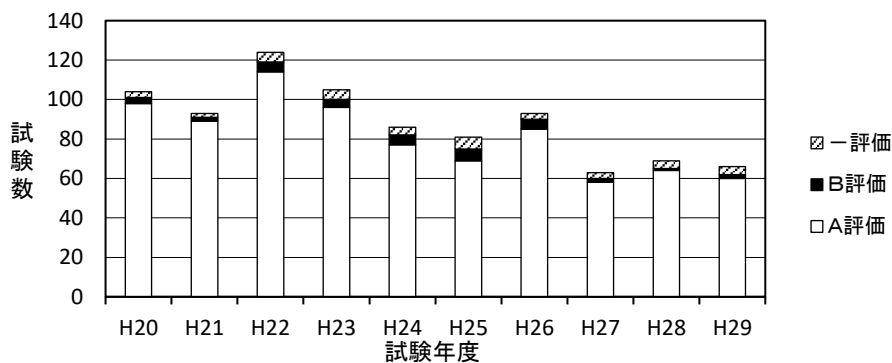
図－1 水稲関係除草剤技術確認圃における供試薬剤数の推移



図－2 水稲関係除草剤技術確認圃における試験点数の推移



図－3 移植栽培技術確認圃（雑草イネは除く）における有効成分数別の供試薬剤数の推移



図－4 水稲関係除草剤評価確認数の推移